

春のまちあるき 和歌集

まちあるき 始めてみれば 知らぬ木々 見えて
るだけで 見てぬ我知る

洛西の 四季折々に 咲く花を よくぞ先人 植
えにけり

歩き着き 小塩の山を 眺むれば つかれも吹き
飛び コーヒーうまし

小塩山 みどりに燃える 五月晴れ いにしえ人
に 想いを馳せる

空仰ぎ 花咲かせる ユリノキが 淡いみどり
今日は！

花とみどり 名前わかりし 一人行く 川のが
れは 小畑川

洛西の 小塩の山に 住む鹿も にそと工事で
逃げ去りしかも

早苗田に 風吹き渡り 鳴く鳥の 声ほがらかな
大原野かな

まちあるき 見なれたまちも あたらしい 発見
ばかりの ニュータウン

洛西に 住みし月日も 三十路過ぎ 今山みどり
うぐいすの鳴く

行く雲と サラサラゆるり 竹の秋

洛西の みどりは私の 宝物 いつも変わら
ず いやしてくれる

ラクセーヌ なんじゃもんじゃの木があるよ や
っぱりすてきだ ラクセーヌ

あおづつで いけばないけたら きれいにみえた
願わくば 譲り葉のごと 我死なむ 子らをたの
みに 未来たくして

ささずれの かそけき音色 竹林に 黄金色した
笹の葉吹雪

古しえの 歌に誘われ 小塩山 ニュータウンか
ら 今も望まん

球児らの プレーを見守る お塩山のアンテナ
春夏秋冬 いつもありがとう

まごいひごいの 泳ぐベランダ 公園のすみれた
んぽぽ つつじも元氣

五月晴れ ニュータウンの公園に なんじゃもん
じゃの 雪ぼうし

竹のみち つまづくくつのその先に 小きき夕々
ノコ 顔を出す

さやさやの 風に誘われ まちあるき 老いも幼
きも 笑顔はじける

サラサラと 落ちる竹の葉 竹の径 いにしえ人
になりて歩るけり

ラクセーヌ パリの岸辺じやないけれど なんじ
やもんじやの いま花盛り

洛西は 山紫水明 小京都 カップル並ぶか 小
畑川

小塩山 あるきの路の 遠ければ やぶ蚊にささ
れて チクリン公園

平成二十三年五月十五日